



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 田中 武
- 幹事 門前 庄次郎
- 会報委員長 田中 正躬



冬の気配 蜘蛛 康介

<会長の時間>

日本建築史家の草分けであり建築家の伊東 忠太 (1867 年 11 月 21 日(慶応 3 年)~1954 年 4 月 7 日 87 歳没) は、思想家であり文人である岡倉 天心 (1863 年 2 月 14 日(文久 2 年)~1913 年 9 月 2 日(大正 2 年) 50 歳 没) に影響を受けています。天心は、狩野芳崖、幸田露伴、森鷗外、小泉八雲や横山大観・下村観山・菱田春草・木村武山 らとの交流がありました。

この時代には、極端な欧化政策や、神道国教科を巡り神道と仏教が分離され、結果的に仏教排斥となり、寺院や仏像などの破壊運動(廃仏毀釈)が起きました。伝統的美術は旧弊なものと思われ、画壇は没落し、多くの古美術品が海外に流出。西欧諸国ではジャパニスムブームがあり、廃仏毀釈の反省から古美術保護の動き、富国策として美術奨励の動きもみられつつありました。



<本日のプログラム>

お祝い

◎会員誕生日



山下 明 11. 3 田中 晶洋 11. 6 住田 泰典 11. 19 (当日欠席)

菱川 正臣 11. 1、垂井 政機 11. 10、小田 博司 11. 5

◎夫人誕生日

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 小森 丈一 | 映子 さん | 11. 17 |
| 折茂 謙一 | 佑子 さん | 11. 3 |
| 岡田 賛三 | 芳子 さん | 11. 6 |
| 田近 毅 | 薫 さん | 11. 1 |
| 伊藤 松寿 | 早苗 さん | 11. 20 |
| 阪下 六代 | 恵子 さん | 11. 14 |
| 鴻野 幸泰 | 尚美 さん | 11. 28 |
| 中島 弘人 | 吏加 さん | 11. 13 |
| 垣内 久男 | マウリン さん | 11. 15 |

◎結婚記念日

- | | |
|-------|--------------|
| 平 義孝 | S 35. 11. 3 |
| 小森 丈一 | S 39. 11. 11 |
| 田中 武 | S 45. 11. 18 |
| 田中 正躬 | S 45. 11. 29 |
| 米澤 久二 | S 57. 11. 20 |
| 垣内 秀文 | S 60. 11. 4 |
| 垣内 久男 | 11. 3 |
| 下屋勝比古 | H 3. 11. 4 |
| 西村 直樹 | H 11. 11. 27 |
| 向井 公規 | H 17. 11. 6 |

<幹事報告>

◎高山市青少年市民会議より

- ・「第 31 回家族スナップ写真展」
- 「第 23 回家庭の日図画展」開催の役割について(依頼)

出役日時 12月4日(木)から7日(日)まで

場 所 高山市民文化会館 2-5、2-6 展示室



<受贈誌>

社団法人高山市文化協会(広報高山の文化)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	36名	10名	46名	47名	97.87%
本日	33名	-	33名	46名	71.74%

◎出席表彰

田中 武
11年



例会報告

◎在籍周年記念表彰

ナシ

◎3ヶ月表彰

- ・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・蜘蛛手 康介 ・小森 丈一
- ・田中 武 ・田中 正躬 ・山下 直哉 ・米澤 久二
- ・山本善一郎

米山奨学委員会

委員長 井辺 一章

本日のゲスト、株式会社カケン常務取締役 古村久道様のご紹介をいたします。

昭和23年12月、神岡町のお生まれで、現在は名古屋市中村区にお住まいです。趣味はゴルフに詩吟で、建築設備士・1級建築士の資格をお持ちです。宜しくお願ひいたします。



「エネルギーについて考える」

株式会社 カケン 常務取締役 古村 久道 様

1. 世界のエネルギー事情

産業革命以降、世界のエネルギー消費は爆発的に増加し、20世紀になると、石油エネルギーの台頭や人口の増加に伴いエネルギー消費量が急増し、1965年から1995年の30年間で約2倍となっています。その後は、1970年代の二度の石油危機をきっかけに、世界の先進各国の省エネルギーと石油代替エネルギーの開発・導入が進み、近年では世界のエネルギー事情はそれほど急激に変化することなく推移してきました。

世界のエネルギー消費量は長期的に見れば着実に増え続けています。増加率でみると、ヨーロッパ・ユーラシア、北米などは比較的低い伸びになっていますが、中国やその他のアジア諸国、中東諸国などでは、人口増加と工業化の進展などから依然として大幅な増加が続いています。今後もこれらの国々を中心として世界のエネルギー消費量は、ますます増えていくものと思われま

2. 日本のエネルギー事情

自国にほとんど資源を持たない日本は、エネルギー資源の多くを輸入に頼っています。また、ヨーロッパの国々のように天然ガスパイプラインや送電線などで近隣の国とエネルギーを融通し合える状況とは大きく異なります。二度の石油危機をきっかけに日本は省エネルギーを進めており、原子力、LNG（液化天然ガス）、石炭などの導入が進んでいます。また、日本の一次エネルギー供給量は近年ほぼ一定で、石油危機以降も石油への依存度が高いまま推移しています。

3. 地球環境とエネルギー

エネルギー消費の増加は、大気汚染や酸性雨など様々な環境問題を起こしています。中でも深刻なのは地球温暖化です。

温室効果ガスは、太陽からの日射エネルギーは通しますが、地表から出る熱（赤外線）を吸収する働きがあります。

二酸化炭素（CO2）の大気中の濃度は、産業革命以降、化石燃料の燃焼や熱帯雨林などの樹木の伐採など人間活動によって、急激に増え続けています。

大気中の温室効果ガスが増え続けると、地球の平均気温が上昇して、農作物や漁獲量への影響、気象の変化など様々な影響を与えることが予想されています。

4) 新エネルギーの現状

新エネルギーとは、自然のプロセス由来で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力等から生成される「再生可能エネルギー」のうち、技術的には導入段階にあるものの、コストが高いため、その普及に支援を必要とするものを指します。新エネルギーは、枯渇の恐れがなく環境にやさしい等のメリットがありますが、既存のエネルギー源に比べるとエネルギー密度が低く、安定性に欠ける等のデメリットがあります。太陽光発電や風力発電もエネルギー密度が低く、大量に発電するには広い土地が必要となるため、太電力の供給には不向きです。しかし、特定地域での利用（小規模分散型利用）は可能です。

太陽光発電は時間と天気により、また風力発電は風の強さにより発電電力量が変動するため、バックアップ電源が必要です。

5) 住宅・建築物に係るエネルギー消費量及びCO2排出量の推移

・我が国において、住宅・建築物部門は全エネルギー消費量の3割以上を占め、産業、運輸部門に比べて過去20年の増加が著しいため、省エネ対策の強化が求められている。

・CO2排出量についても、他部門に比べ増加傾向が顕著。

①省エネ基準適合率の推移

・非住宅建築物については、これまでの規制強化により、省エネ基準適合率が約9割に達している。

・住宅については、従前は20%未満であった省エネ基準適合率が、住宅エコポイントの効果により約5割に向上。

②住宅・建築物の省エネ化に関するこれまでの経緯

『省エネ法に基づく規制』

1979年～ 省エネ法（努力義務）、省エネ基準1980年版、住宅1992年版（強化）、非住宅1993年版（強化）、省エネ基準1999年版（強化）

2003年～ 届出義務・2,000㎡以上の非住宅建築物の建築

2006年～ 届出義務の拡大

・2,000㎡以上の住宅の建築

・2,000㎡以上の住宅・建築物の大規模改修等

2009年～ 住宅トップランナー制度の導入

住宅事業建築主（150戸/年以上）が漸築する戸建住宅

2010年～ 届出義務の拡大 ・300㎡以上の住宅・建築物の建築
省エネ基準2013年版（一次エネルギー消費量基準）

『省エネ性能の表示・情報提供』

2000年～ 住宅の品質確保の促進等に関する法律

住宅性能表示制度

2001年 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）

2009年 省エネ法 住宅省エネラベル

『インセンティブの付与』

2007年～ フラット35S（住宅ローン金利優遇）

2008年～ ・省エネリフォーム促進税制

・住宅・建築物省CO2先導事業・省エネ改修推進事業

2009年～ 「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」

ロータリーに輝きを

例会報告

長期優良住宅認定制度
(住宅ローン減税、固定資産引下げ等)

- 2010年～ 住宅エコポイント
- 2012年～ 「都市の低炭素化の促進に関する法律」低炭素建築物認定制度(住宅ローン減税、容積緩和等)、
・住宅のゼロ・エネルギー化推進事業

③エネルギー基本計画(平成26年4月11日閣議決定)

<住宅・建築物の省エネ施策関連抜粋>

第4節消費段階・需要家の選択肢の拡大を通じた、効率的な供給構造を生み出すスマートで柔軟な消費活動の実現(本文)

3. 各部門における省エネルギーの強化

(1) 業務・家庭部門における省エネルギーの強化

(略) さらに、省エネルギー性能の低い既存建築物・住宅の改修・建て替えや、省エネルギー性能等も含めた総合的な環境性能に関する評価・表示制度の充実・普及などの省エネルギー対策を促進する。また、新築の建築物・住宅の高断熱化と省エネルギー機器の導入を促すとともに、より高い省エネルギー性能を有する低炭素認定建築物の普及促進を図る。

政府においては、公共建築物の他、住宅やオフィスビル、病院などの建築物において、高断熱・高气密化や高効率空調機、全熱交換器、人感センサー付LED照明等の省エネルギー技術の導入により、ネット・ゼロ・エネルギーの実現を目指す取組を、これまでに全国約4,000件支援してきているところである。今後は、このような取組等を通じて、建築物については、2020年までに新築公共建築物等で、2030年までに新築建築物の平均でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現することを目指す。また、住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の実現を目指す。さらにこうした環境整備を進めつつ、規制の必要性や程度、バランス等を十分に勘案しながら、2020年までに新築住宅・建築物について段階的に省エネルギー基準の適合を義務化する。

6) ヒートポンプの概念

- ・ヒートポンプは熱を移動させる技術。少ないエネルギーで大きな熱を運ぶことができる。
- ・業務部門や家庭部門のエネルギー消費実態では、冷暖房・給湯など熱需要がエネルギー消費の半分以上を占め、ヒートポンプを導入する事で大幅な省エネルギーに貢献できる。
- ・ヒートポンプの普及による省エネポテンシャルは、民生部門や産業用の熱需要を賅っているボイラー等をヒートポンプで代替した場合、一次エネルギー削減効果(原油換算)は約2.7千万kL(約40%)。これは約2.6兆円の燃料調達費に相当。

7) 6年前に、岐阜県で初めて業務用エコキュート

(ヒートポンプ給湯器)導入実績の紹介

<ニコニコボックス>

●田中 武さん、門前 庄次郎さん

(株)カケン常務取締役 古村 久道 様にはお忙しい中ご来訪賜り有難うございます。卓話を楽しみにしております。宜しくお願いします。

●井辺 一章さん

今日は私の二番目の弟、古村久道が話をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

●鴻野 幸泰さん

11月9日ソフトミニバレー全国大会に我々西ロータリークラブからも参加いたします。

●田中 正躬さん

この所、別院報恩講、新宮神社の新嘗祭、町内会の文化収穫感謝祭、高山市表彰式、と私にとって大変せわしい日が続きました。とりわけ、1日の高山市表彰式では地方自治功労賞を戴き、是も一重に皆様方の御蔭と感謝します。有難う御座いました。

●塚本 直人さん

お蔭さまで昨年11月に保険タイムの店舗をオープンさせて頂き1年経ちました。あつという間の1年でしたが、これからもご支援を頂きながら仕事に取り組んでまいります。気持ちを新たに頑張ります。ありがとうございます。

●折茂 謙一さん

11月3日妻の誕生日にきれいな百合の花を届けて頂き有難うございました。好きな花だと言って大変喜んでいました。

●垣内 秀文さん

11月4日結婚記念日のお祝い頂きました。美味しくいただきました。ありがとうございました。

●下屋 勝比古さん

結婚記念日のお品を今年も仲良く頂戴しました。ありがとうございました。

●向井 公規さん

昨日、結婚記念日で10周年を迎えました。記念の品を頂き誠にありがとうございました。これからも夫婦仲良く歩んでいきたいと思っておりますのでご指導の程引き続き宜しくお願いいたします。本日は早退しますが申し訳ございません。

●田中 晶洋さん

昨日、母の通院の帰りに四十八滝まで紅葉狩りに行って来ました。普段はなかなか母を連れて外出出来ないの、良い機会でした。本日早退で失礼いたします。

●堺 和信さん

今年も残す所2ヶ月を切ってしまいました。何かと忙しくなってきたが身体に気をつけて頑張りたいと思います。今日は早退させていただきます。

●古橋 直彦さん

本日は私用で欠席します。次年度の役員・理事候補者名簿を12月8日の年次総会時まで貼り出させていただきます。宜しくお願いします。また、平さんには急なお願いでお手数をお掛けしました。

